

研究テーマ「技能労働者（建築大工）の人材育成等について」の調査研究報告

飯田市議会 産業建設委員会

はじめに

平成27年度の議会報告会のテーマとして、『みんなで考えよう！「地域で働く人づくり、若者が帰って来られる仕事づくり」とは』と『地域資源を活かし、地域経済や地域の活性化を図るには』の二つを設定した。テーマに関する課題や論点の整理を行う中で委員から、技能労働者の減少の実態と人材育成等についても取り上げる必要があるとの発言があった。委員会としては、『みんなで考えよう！「地域で働く人づくり、若者が帰って来られる仕事づくり」とは』の中の一つの視点として調査研究することを確認し、これまで関係する団体等と意見交換を行ってきた。

委員会の調査研究が深まるに伴い、27年度の議会報告会で設定した二つのテーマを集約し、28年度の議会報告会は、『若者定住を促進するためには』のテーマ1つとして市民との意見交換を行った。

2年間の調査研究を総括する中で技能労働者（建築大工）については、喫緊に対応する課題があるとの認識と、委員会からの提案として個別具体的な項目について合意できたので、テーマ「若者定住を促進するためには」とは別途に「技能労働者（建築大工）の人材育成等について」として担当部署へ提案するものである。

#### I これまでの調査研究活動をふまえての方向性と提案

長野県飯田技術専門校木造建築科への入校者数は、平成26年度から3年間定員20人の5割を切っており、技術専門校でも喫緊の検討課題として、木造建築科の生徒の確保をあげている。特に若年層の技能労働者不足は顕著であり、近い将来の人材不足、人材の枯渇が危惧される状況にある。飯田技術専門校と桜町にある飯田高等職業訓練校を併せて3年間学ぶことで独り立ちできる道が開かれることから、飯田技術専門校木造建築科への入校生を増やすなど技能労働者の人材育成に取り組む必要があると考え、次のとおり提案する。

- 1 市は、飯下建設産業労働組合連合会、工務店など関係する団体等と協議する場を設け、今後の対応策を検討し速やかに実行されたい。
- 2 当面、必要な広報活動への応援体制の強化を図るとともに、飯田技術専門校への入校生を飯田市奨学金制度の対象者とし、併せて卒業後地元の工務店等に一定の期間就職した場合に、奨学金の償還の一部を免除する制度の創設を検討されたい。
- 3 U・Iターン者のための空き家の利活用の観点からも、在来工法による建築物を、地元の工務店等や建築大工を使ってリフォームやリニューアルした場合に、補助する制度の創設を検討されたい。
- 4 市内の一部の中学校で実施されている木工教室（飯下建設業人材育成事業）を、全中学校で実施されたい。また、小学校への展開を検討されたい。

## Ⅱ 調査研究の経過

- 平成 27 年 11 月 10 日 飯田商工会議所支部連合会との意見交換
- 平成 28 年 3 月 12 日 28 陳情第 2-2 号  
「市に対し、公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める」を審査し、継続審査
- 平成 28 年 4 月 13 日 宅建協会南信支部飯田地区役員と意見交換
- 6 月 9 日 28 陳情第 2-2 号  
「市に対し、公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める」を審査し、採択
- 9 月 16 日 産業建設委員会協議会勉強会  
・ハローワーク飯田 飯田公共職業安定所長を講師に  
「飯伊地区の若者雇用等の現状について」説明を受け意見交換
- 11 月 15 日 産業建設委員会協議会勉強会  
・長野県飯田技術専門校を現地視察し、現状等についての説明を受ける。その後委員間で討論
- 平成 29 年 1 月 26 日 産業建設委員会協議会勉強会  
・飯下建設産業労働組合連合会役員との意見交換。その後委員間で討論
- 2 月 8 日 産業建設委員会協議会勉強会  
・議員間で討論し、提案内容の確認